

【1回目登壇】

こんにちは。日本維新の会の辻信行でございます。

第2回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。先輩、同僚議員の皆さまにおかれましては、しばらくの間、ご清聴のほど、よろしく願いいたします。

昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大は、終息の兆しも見えないまま、8月20日には兵庫県に4回目となる緊急事態宣言も発令されました。さらなる感染拡大も懸念される中、医療従事者の皆様を始め、対応にあたられている多くの方々に敬意を表します。また、現在療養されておられる方々や家族の皆様にお見舞い申し上げます。

今回は、これまでの質問に対する市の検討状況の確認も含めて、質問をさせていただきます。早速ですが、質問に入らせていただきます。

まず、3月の総括質疑に引き続き、町会などによって設置されている街灯について、お伺いします。総括質疑では、町会灯の設置状況を把握するために行ったアンケートについて、約68%の団体から回答をいただいているとの答弁がありました。また助成制度などについては全数の調査を終えた段階で検討するとのことでした。

現時点でのアンケートの回収状況、現地調査の状況はどのようになっているでしょうか、お聞かせください。

前回は発言しましたが、街灯の維持管理が切実な課題となっている地域団体は、今回のアンケートの実施に引き続き、街灯の維持管理の負担が軽減するような制度が市によって作られることを、当然期待されておられます。アンケートや現地調査により市が状況を把握するだけであれば、地域団体にとっては何のための調査であったのかといった疑問を持つこととなります。

助成制度など、街灯の維持管理の負担が軽減するような制度、地域団体に寄り添った制度の検討状況についてお聞かせください。

次に、北消防署園田分署跡地の活用についてお伺いします。

昨年から続くコロナ禍や災害時において、消防署や地域の消防団の果たす役割はとても重

要になっています。緊急事態宣言などの発令時には、市から地域の消防団に対して、「市民に感染予防対策の徹底を促すための広報」の協力依頼があり、消防団の車両を活用して継続した広報活動を続けておられます。

日々地道な活動を行っている地域の消防団の中には、器具庫として消防車両1台分のスペースしかなく、手洗い・トイレなど、活動に必要な最低限の場所も確保されていない現状があります。活動に必要な器具庫を設置するには、より広い土地の確保も必要なようですが、継続した活動のためには改善が必要だと思います。

地域の消防団の器具庫の現状について、消防局はどのように考えていますか。改善が必要であるとの認識はありますか。

私が住む園田地域においても、改善を求める声をお聞きしています。

園田地域では、今年4月に園田地区会館が園田東生涯学習プラザに移転し、さらに今後、旧園田地区会館跡地には北消防署園田分署が移転する予定になっています。その後、園田分署跡地は売却される予定と聞いております。

今後の園田地域の消防団活動を維持していくためにも、園田分署跡地の一部を地域の消防団の器具庫として活用することはできないでしょうか。ぜひ検討していただきたいと思いますが、考えをお聞かせください。

次に、園田西武庫線藻川工区の橋の通行についてお伺いします。

新藻川橋の歩行者・自転車の通行については、市民の皆様から多くの声が寄せられており、これまで何度も質問をさせていただいておりますが、現時点においても歩行者すら通行できません。今回は、特に水害時の避難経路として橋を活用する観点から質問をさせていただき

ます。

移転前の園田地区会館は災害時の市の指定避難場所になっており、現在の園田東生涯学習プラザも同様に避難場所になっております。移転の決定にあたっては、新藻川橋の開通により、東園田地域からも利用がしやすい状況になると約束されていましたが、現状では、平常時だけではなく、時間を問わず避難が必要な災害時であっても、避難経路として通行できない状況です。近年、災害が頻繁に起こっており、想定外のことが起こってからの検討では間に合いません。現在の状況を市も看過できないはずです。

今年は、梅雨明け後の8月に全国的に大雨が続き、各地で記録的な雨量となりました。『災害はいつ起こるかわからない』ということ、市長も実感しておられると思います。

新藻川橋は、災害時に避難経路としても活用できない現状を、市長はどのように受け止めておられますか。

本市の洪水ハザードマップを見ても、猪名川・藻川に囲まれた地域は、大きな被害が予想されています。住民が、速やかに避難し、命を守ることができるよう、可能な限りの対策を行う必要があります。

今年3月には、東園田町1丁目に猪名川防災活動拠点も完成するなど、猪名川流域に住む尼崎市民、豊中市民にとっては、安心につながっています。

一方で、藻川に架かる新藻川橋の近隣住民にとっては、いざという時にも、目の前の橋を通行し、避難することができません。

これまでの質問では、新藻川橋の通行には、信号機や横断歩道の設置などの安全対策を行うことが必要であり、工期の遅れや工事費の増額につながることから、現状では難しいと答弁されています。

必ず行う必要がある安全対策のための工事を前倒しで行うことが、どの程度の工期の遅れや工事費の増額につながるのでしょうか。

新藻川橋を渡ったすぐ先にある避難所に向かうためには、現時点では大きく迂回して他の橋を渡る必要があります。避難が必要な場合にも、目の前にある橋を通行できない今の状況は、一刻も早く改善されなければなりません。

災害時の避難経路を確保するため、一刻も早く市長が先頭に立ち、新藻川橋を歩行者・自転車が通行できるよう取り組むべきです。市長の考えをお聞かせください。

以上で、1回目の質問を終わります。

## 【2回目登壇】

答弁をいただきありがとうございます。

次に、いよいよ来年1月に開始予定の中学校給食についてお伺いします。

給食開始まであと4か月となりました。これまでも市内産食材の活用などの質問をさせていただいておりますが、まずは現在の検討状況についてお聞きします。

平成29年6月に開始された伊丹市の中学校給食では、第1回目の献立はカレーライスで

あったと聞いています。

尼崎市の中学校給食の献立の検討状況はいかがでしょうか。

尼崎市産の米の活用については、年に1、2回程度は活用できるとお聞きしています。

第1回目の記念給食では、ぜひ活用してもらいたいと思いますが、いかがですか。

中学校給食は給食センターから配送用のトラックで各中学校に配送されます。配送が遅延した場合などに備え、各中学校には災害用の備蓄とは別に代替食が保管されるようです。

どういった代替食が用意されるのでしょうか。

中学校給食の代替食は、消費期限があると思います。災害用の備蓄食品は、消費期限が近くなり入れ替える場合には、地域の防災訓練等に活用しているとお聞きしています。

期限内に使用しなかった給食の代替食はどのように活用する予定でしょうか。

8月4日には文教委員として工事中の給食センターを視察させていただきました。その際、給食を配送するトラックも見させていただきました。トラック10台で17中学校に配送することなのですが、トラックの荷台が真っ白の状態であり、ほぼ毎日市内を走る移動広告としての活用ができるのではないかと感じました。

給食をセンターから各中学校に配送するトラックの荷台を、移動広告のスペースとして活

用してはいかがでしょうか。

次に、地産地消の取組についてお伺いします。

今年3月と7月から8月にかけて、JR尼崎駅構内で朝どれ野菜の直売実証実験が行われました。これは、障害者雇用を推進するために設立されたJR西日本の特例子会社が、「駅を活用した農産物の地産地消の推進」と「障害者の活躍の場の拡大」を目的に取り組みられたものです。今後も、「地産地消の実現」や「各地域の活性化」、「障害者支援施設との連携」に取り組まれるとのことでした。

私自身、地産地消による都市農業の活性化を推進する立場から、これまでも質問を重ねて来た中で、この取組は大変素晴らしいものであると感じました。JR西日本関係の広報から

は尼崎市との連携が見えなかったため、状況についてお聞きします。

今回の取組に市はどのような関わりをしているのか、農業と福祉それぞれの側面からお聞かせください。

これまで2回の取組の結果について、何か把握していることがあればお聞かせください。

今後の継続した取り組みについて、しっかりと連携を図り、例えば市報や市のホームページなどで積極的に広報を行うなど、市としてできる取組を行っていただきたいと思います。  
市としてどのような取組が可能でしょうか、お聞かせください。

次に、フードロス対策についてお伺いします。

フードロス対策については、様々な団体において取組が進められておりますが、全国の自治体においても積極的な取組が進められています。

例えば、滋賀県守山市では、企業と協定を結び、これまで賞味期限が2か月に迫ると破棄されていた飲料水を、定価の半額程度で販売されておられます。また、神奈川県相模原市では、同様の自動販売機を市役所本庁舎1階に設置し、売り上げの一部が企業から市のSDGsの取組に寄付されているそうです。

こういった取組もあわせて、市がフードロス対策として実施していること、また新たに検討していることがあればお聞かせください。

最後に、あらためて市の取組に対して、要望させていただきます。

町会などによって設置されている街灯の維持管理については、その負担が地域にとって切実な課題となっており、地域の生活道路を明るく照らし、今後も安心・安全に通行できるよう、地域団体に寄り添った対応をお願いします。

北消防署園田分署跡地の活用については、器具庫の改善が必要な消防団にとって、環境改善を図る大変重要な機会です。ぜひ前向きな検討をお願いします。

新藻川橋は、いつ起こるかわからない災害に備えて、地域住民の命を守るためにも、一日も早く通行できるよう、市長が先頭に立って取り組み、ぜひ実現をさせてください。

市内産食材の学校給食への活用については、農業者の声も聞きながら、今後も継続して取り組んでいただくよう要望します。

以上で、私の質問を終わります。

令和3年9月議会一般質問

日本維新の会 辻 信行

本日いただく答弁の内容については、今後の質問の機会に、引き続き確認をさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。